

Press Release Date : 2016.12.1

## 表題：次世代モビリティ社会実装研究センターを設置

### ○目的

国立大学法人群馬大学（学長 平塚浩士）は、次世代自動車産業振興に資する産学官金連携イノベーションの拠点形成を目指し、次世代モビリティシステムの社会実装研究と開発及び高度人材育成を目的として、12月1日に桐生キャンパスの研究・産学連携推進機構B棟（群馬県桐生市天神町一丁目5番1号）に「次世代モビリティ社会実装研究センター」を設置しました。

### ○運営体制

センターには、センター長及び副センター長を置き、全体を統括するとともに、教育研究部及び技術開発部を置き、以下の業務を行います。

#### ■教育研究部

- (1) 次世代モビリティに係る研究開発に関すること。
- (2) 次世代モビリティに係る学生及び社会人に対する人材育成プログラムの開発と教育の実施に関すること。
- (3) 次世代モビリティに係る技術開発の支援に関すること。

#### ■技術開発部

- (1) 次世代モビリティの技術開発に関すること。
- (2) 次世代モビリティに係る学生及び社会人に対する人材育成の支援に関すること。

### ○概要

#### ■研究開発・技術開発テーマ

自動車関連産業が集積し、全国有数の自動車依存地域である群馬県において、群馬大学の所有する完全自律型自動運転に関する情報地図作成技術、認知判断操作技術、車車・路車間協調技術、管制・遠隔操縦技術、完全自律型車体プラットフォーム開発技術、自動運転シミュレーション技術をはじめとした公道実証実験に必要な技術シーズに基づいて、多分野にわたる数多くの企業との連携、自治体の社会実装協力体制による競争優位性をもって、持続可能なビジネスモデルとしてパッケージ化し、多業種・多分野・多地域にわたる展開を図ります。

#### ■社会的インパクト

完全自律型自動運転技術・実証システムのパッケージを産学官金連携体制を構築して、事業

化を図ることで、物流、治安・防災、娯楽・観光、医療・福祉、保険などの多岐にわたる分野においてライフスタイルの変革が起こり、関係業界でのイノベーション創出が期待できます。

#### ■地方創生への貢献

自動車関連製造業を中心とした地域産業や地域観光の活性化に寄与するとともに、地域自治体の交通インフラの整備や過疎化・高齢化の切迫する行政課題に対応した交通システムの開発など、地域の社会・住民が抱える問題解決に貢献します。

#### 【本件に関する問合せ先】

学長特別補佐	板橋英之	TEL：0277-30-1272
研究推進部産学連携推進課長	早川知宏	TEL：027-220-7541



左から、小木津副センター長，太田センター長，平塚学長

# 次世代モビリティ社会実装研究センター

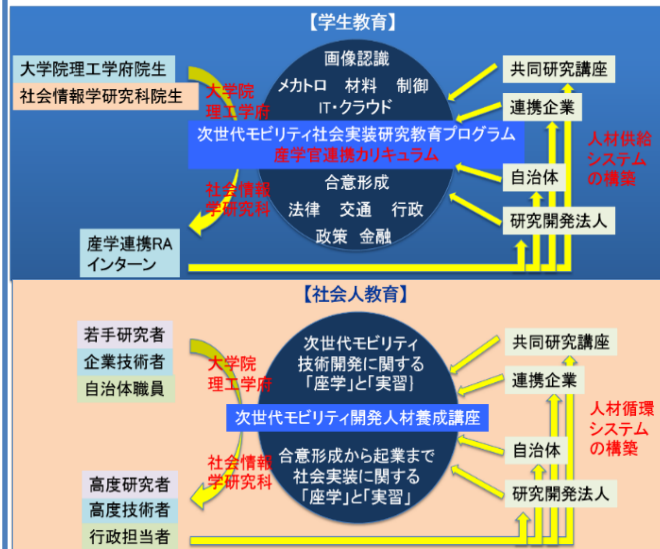
学長

研究・産学  
連携推進機構

次世代モビリティ  
社会実装研究センター

## 教育研究部

高度人材育成(学生・社会人)

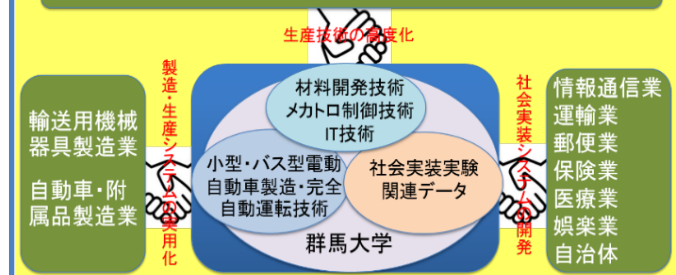


研究センター内に設置する講義室・設備を利用し、産学官金協働で学生や社会人の教育を提供すると共に、ベンチャー企業・金融機関との連携によりアントレプレナーシップ教育・起業人養成プログラムを提供する。

## 技術開発部

アンダーワンルーフ研究開発

輸送用機械器具製造業、電子部品製造業、学術・研究開発機関



### 次世代モビリティの社会実装を目指す先端技術シーズ

- 小型・バス型電動自動運転自動車の製造・安全走行技術
- モーター駆動のメカトロニクス精密制御技術
- 自動運転のための画像認識技術ならびに人工知能化技術
- 軽量金属材料、カーボン材料の製造ならびに加工技術
- ビッグデータ解析技術
- 社会実装のための社会情報シミュレーション技術

### 【センター構成員】

センター長, 副センター長, 教員, 技術職員, 産学官連携コーディネータ, 知的財産コーディネータ